

新 旧 対 照 表

地域再生計画の名称：総合産業支援機能強化によるがんばる事業者育成計画

新					旧				
地域再生計画					地域再生計画				
1 地域再生計画の名称 (略)					1 地域再生計画の名称 (略)				
2 地域再生計画の作成主体の名称 (略)					2 地域再生計画の作成主体の名称 (略)				
3 地域再生計画の区域 (略)					3 地域再生計画の区域 (略)				
4 地域再生計画の目標 (略)					4 地域再生計画の目標 (略)				
【数値目標】					【数値目標】				
	事業開始前	平成 28 年度 (増加分)	平成 29 年度 (増加分)	平成 30 年度 (増加分)		平成 29 年 3 月末	平成 30 年 3 月末	平成 31 年 3 月末	平成 32 年 3 月末
支援活動ネットワーク 活動件数	0 件	15 件	25 件	10 件	支援活動ネットワーク 活動件数	15 件	25 件	30 件	30 件
支援企業数	0 社	5 社	5 社	5 社	支援企業数	5 社	5 社	5 社	5 社
支援企業の 課題解決件	0 件	2 件	8 件	8 件	支援企業の 課題解決件	2 件	8 件	15 件	15 件

数				
	<u>KPI 増加</u> <u>分の累計</u>			
支援活動ネットワーク活動件数	<u>50 件</u>			
支援企業数	<u>15 社</u>			
支援企業の課題解決件数	<u>18 件</u>			

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

本計画では、各産業支援機関と地域一丸の連携体制を構築し、中堅・中小企業の幅広い課題解決及び企業の育成・経営改善など雇用創出に向けた総合的な支援を行い、雇用の質・量の確保及び向上を図り、若年層の流出抑制、流入拡大に繋げていく。

具体的には、既に成果を上げている市内中小企業全体の売上拡大支援の先進的モデル「OKa-Biz (オカビズ)」を中核としつつ、創業者向けの人的ネットワーク構築支援やデザイナーとのマッチングによる商品等の開発支援を行うとともに、産金学士官で継続的に産業育成戦略を定め推進する「産業育成コンソーシアムのネットワーク」、経済波及効果の高い中核的企業に対する「ハンズオン支援等」の3つの施策

数				
---	--	--	--	--

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

本計画では、各産業支援機関と地域一丸の連携体制を構築し、中堅・中小企業の幅広い課題解決及び企業の育成・経営改善など雇用創出に向けた総合的な支援を行い、雇用の質・量の確保及び向上を図り、若年層の流出抑制、流入拡大に繋げていく。

具体的には、既に成果を上げている市内中小企業全体の売上拡大支援の先進的モデル「OKa-Biz (オカビズ)」を中核としつつ、創業者向けの人的ネットワーク構築支援やデザイナーとのマッチングによる商品等の開発支援を行うとともに、産金学士官で継続的に産業育成戦略を定め推進する「産業育成コンソーシアム」、経済波及効果の高い中核的企業に対する「ハンズオン支援等」の3つの施策を融合し、現在雇

を融合し、現在雇用を支えている企業の下支えと将来の雇用を支える中核的企業の育成に総合的に取り組んでいく。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生推進交付金（内閣府）：【A3007】

1（略）

2 事業の名称及び内容

○産業支援機能強化対策事業

産金学士官で継続的に産業支援策の方針を決定していく連携体「岡崎市産業育成コンソーシアムのネットワーク」を構築し、地域産業構造・現状データ・将来のシナリオ分析等を行い、比較優位・経済波及効果の高い産業等の特定、重点的取組テーマの絞込み等を行い、産業中長期的な雇用維持拡大を狙った共同戦略を策定し、スキルの高い専門家と支援機関との連携で経済波及効果の高い中核的企業への集中的なハンズオン支援等を実施し、企業のしごとづくりをダイレクトに支援する。

（略）

3 事業が先導的であると認められる理由

【官民協働】

行政が主体となり産金学士官が連携して産業育成コンソーシアムのネットワークを構築し、それぞれの専門領域及び専門知識を活用しながら、各企業の状況に応じてピンポイントでの支援を実施する。中小企業と幅広いネットワークを有する立場を活かして支援の

用を支えている企業の下支えと将来の雇用を支える中核的企業の育成に総合的に取り組んでいく。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生推進交付金（内閣府）：【A3007】

1（略）

2 事業の名称及び内容

○産業支援機能強化対策事業

産金学士官で継続的に産業支援策の方針を決定していく連携体「(仮称)岡崎市産業育成コンソーシアム」を設置し、地域産業構造・現状データ・将来のシナリオ分析等を行い、比較優位・経済波及効果の高い産業等の特定、重点的取組テーマの絞込み等を行い、産業中長期的な雇用維持拡大を狙った共同戦略を策定し、スキルの高い専門家と支援機関との連携で経済波及効果の高い中核的企業への集中的なハンズオン支援等を実施し、企業のしごとづくりをダイレクトに支援する。

（略）

3 事業が先導的であると認められる理由

【官民協働】

行政が主体となり産金学士官が連携して産業育成コンソーシアムを組織し、それぞれの専門領域及び専門知識を活用しながら、各企業の状況に応じてピンポイントでの支援を実施する。中小企業と

活用を促すとともに、伴走支援に参画するなかで、自らも支援ノウハウを獲得し、支援機能強化を図る。

(略)

【政策間連携】

本事業により促進される各企業の新事業開発等において人材確保が求められる過程で、人材マッチング等の既存の就業支援策と連携することで、スムーズな人材確保及び一層の雇用創出につながる。また、各産業支援機関が統一した育成戦略を共有し果たす役割を整理することにより、効率的・効果的な支援が可能となる。

さらに、産業育成コンソーシアムのネットワークにおける 戦略テーマとして、高齢化社会が抱える課題にスポットを当てていくことを想定しており、高齢化社会に対応する新たなビジネスモデルづくりを誘導し社会課題の解決へ寄与する。

【自立性】

産金学士官で 構築 される 産業育成コンソーシアムのネットワーク は、中核的企業育成のハンズオン支援の実績を有する中小企業基盤整備機構等の協力を得ながら事業を推進し、2年目以降はプロジェクトマネージャーとなる専門家を設置する予定である。専門家設置に係る費用を利用企業から徴収するとともに、参加支援機関からの負担金により、10年後を目途に民間主体による運営を目指す。

【その他の先導性】

地域中小企業の売上拡大支援の先進的モデルとされ全国の市町村が追随してきている「OKa-Biz (オカビズ)」と OKa-Biz を契機に生まれ

幅広いネットワークを有する立場を活かして支援の活用を促すとともに、伴走支援に参画するなかで、自らも支援ノウハウを獲得し、支援機能強化を図る。

(略)

【政策間連携】

本事業により促進される各企業の新事業開発等において人材確保が求められる過程で、人材マッチング等の既存の就業支援策と連携することで、スムーズな人材確保及び一層の雇用創出につながる。また、各産業支援機関が統一した育成戦略を共有し果たす役割を整理することにより、効率的・効果的な支援が可能となる。

さらに、産業育成コンソーシアムの 戦略テーマとして、高齢化社会が抱える課題にスポットを当てていくことを想定しており、高齢化社会に対応する新たなビジネスモデルづくりを誘導し社会課題の解決へ寄与する。

【自立性】

産金学士官で 構成 される 産業育成コンソーシアム は、中核的企業育成のハンズオン支援の実績を有する中小企業基盤整備機構等の協力を得ながら事業を推進し、2年目以降はプロジェクトマネージャーとなる専門家を設置する予定である。専門家設置に係る費用を利用企業から徴収するとともに、参加支援機関からの負担金により、10年後を目途に民間主体による運営を目指す。

【その他の先導性】

地域中小企業の売上拡大支援の先進的モデルとされ全国の市町村が

た支援機関等との連携という本市特有の強みを活かし、連携をより有機的な産業育成コンソーシアム のネットワークを構築 することで、売上向上にとどまらない幅広い課題の解決支援に対応し、これまで取り組めなかった中核的企業等の育成に打って出るものである。

4 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

	事業開始前	平成 28 年度 (増加分)	平成 29 年度 (増加分)	平成 30 年度 (増加分)
支援活動ネットワーク活動件数	<u>0 件</u>	15 件	25 件	<u>10 件</u>
支援企業数	<u>0 社</u>	5 社	5 社	5 社
支援企業の課題解決件数	<u>0 件</u>	2 件	8 件	<u>8 件</u>
	<u>KPI 増加分の累計</u>			
支援活動ネットワーク活動件数	<u>50 件</u>			
支援企業数	<u>15 社</u>			
支援企業の課題解決件数	<u>18 件</u>			

追随してきている「OKa-Biz（オカビズ）」と OKa-Biz を契機に育まれた支援機関等との連携という本市特有の強みを活かし、連携をより有機的な産業育成コンソーシアム 組織という形にする ことで、売上向上にとどまらない幅広い課題の解決支援に対応し、これまで取り組めなかった中核的企業等の育成に打って出るものである。

4 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

	平成 29 年 3 月末	平成 30 年 3 月末	平成 31 年 3 月末
支援活動ネットワーク活動件数	15 件	25 件	<u>30 件</u>
支援企業数	5 社	5 社	5 社
支援企業の課題解決件数	2 件	8 件	<u>15 件</u>

数			
<p>5 (略)</p> <p>6 交付対象事業に要する経費</p> <p>① 法第5条第4項第1号1イに関する事業【A3007】</p> <p>・総事業費 <u>38,117千円</u></p> <p>7～8 (略)</p> <p>5-3 その他の事業</p> <p>5-3-1 (略)</p> <p>5-3-2 支援措置によらない独自の取組</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 産業支援機能強化対策事業 (再掲)</p> <p>事業概要：産金学士官で継続的に産業支援策の方針を決定していく連携体「<u>岡崎市産業育成コンソーシアム</u>のネットワーク」を構築し、地域産業構造・現状データ・将来のシナリオ分析等を行い、比較優位・経済波及効果の高い産業等の特定、重点的取組テーマの絞込み等を行い、産業中長期的な雇用維持拡大を狙った共同戦略を策定し、スキルの高い専門家と支援機関との連携で経済波及効果の高い中核的企業への集中的なハンズオン支援等を実施し、企業のしごとづくりをダイレクトに支援する。</p> <p>実施主体：岡崎市</p> <p>事業期間：平成28年度から</p> <p>(平成28年度は、地方創生加速化交付金事業として実施。)</p>			<p>5 (略)</p> <p>6 交付対象事業に要する経費</p> <p>① 法第5条第4項第1号1イに関する事業【A3007】</p> <p>・総事業費 <u>44,814千円</u></p> <p>7～8 (略)</p> <p>5-3 その他の事業</p> <p>5-3-1 (略)</p> <p>5-3-2 支援措置によらない独自の取組</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 産業支援機能強化対策事業 (再掲)</p> <p>事業概要：産金学士官で継続的に産業支援策の方針を決定していく連携体「<u>(仮称)岡崎市産業育成コンソーシアム</u>」を設置し、地域産業構造・現状データ・将来のシナリオ分析等を行い、比較優位・経済波及効果の高い産業等の特定、重点的取組テーマの絞込み等を行い、産業中長期的な雇用維持拡大を狙った共同戦略を策定し、スキルの高い専門家と支援機関との連携で経済波及効果の高い中核的企業への集中的なハンズオン支援等を実施し、企業のしごとづくりをダイレクトに支援する。</p> <p>実施主体：岡崎市</p> <p>事業期間：平成28年度から</p>

<p>平成 29 年度以降は、地方創生推進交付金事業として実施。)</p> <p>6 計画期間 地域再生計画認定の日から <u>平成 31 年 3 月 31 日</u></p> <p>7 目標の達成状況に係る評価に関する事項 (略)</p>	<p>(平成 28 年度は、地方創生加速化交付金事業として実施。 平成 29 年度以降は、地方創生推進交付金事業として実施。)</p> <p>6 計画期間 地域再生計画認定の日から <u>平成 32 年 3 月 31 日</u></p> <p>7 目標の達成状況に係る評価に関する事項 (略)</p>
--	--